

(春日井市)交通結節点スマート化による移動にやさしいまちづくり事業

課題認識 高蔵寺ニュータウンでは高齢者の移動が課題であり、交通結節点でのスマート化による利便性向上を図り、基幹バスと新しいモビリティサービスを活用して、高齢者の免許返納後も安心して住み続けられるまちづくりを進める。また交通結節点を中心ににぎわいを創出し、まちの活性化を行う。

事業内容 高齢者への移動にやさしいモビリティタウンづくり実証実験

1. 交通系ICカードを利用したラストマイル交通活用実証実験

- まち中でもカード1枚で簡単に予約できる機能をモビリティポートに実装し、高齢者でもデマンドタクシー・シェアサイクル・電動車椅子といったシェアサービスを気軽に利用し、ニュータウン内を移動できる環境の機能実証。
- モビリティポートのUIはできるだけ簡素化し、高齢者でも分かり易い操作が行えるものとする。

2. デジタルマップ活用したバリアフリーマップ作成と情報発信

- 地域情報発信可能なデジタルマップを使い、バリアフリーマップを作成し、車椅子利用や歩行に負担のないルートの情報発信を行うとともに、移動に不安を抱える住民でも気軽に出歩けるまちづくりを目指す。
- バリアフリーマップ作成と情報発信は、学生・住民などボランティア活動予定。これにより移動困難者の目線でニュータウンをとらえ、地域一体となった移動に優しいまちづくりの気運を醸成する。

3. 先進的なDX機能活用

- 交通系ICカード×MP認証とデマンド・シェアモビリティ貸出連携
- デジタル地域マップ作成とSNS活用した地域情報配信
- Wi-Fiルーターによる滞在時間把握



交通系ICカード対応電動車椅子
デジタルマップを使ったバリアフリーマップ例



事業体制



将来性

- 高齢化社会に備え、移動課題を中心に多様なモビリティを組み合わせ、交通結節点スマート化により機能的に融合。移動にやさしく、にぎわいが創出できるまちづくりの横展開可能な県内市町村のモデルとする。
- 将来を見据えたモビリティサービス及び交通結節点スマート化での持続可能な運営モデルを検証し、社会実装を進めてゆく。